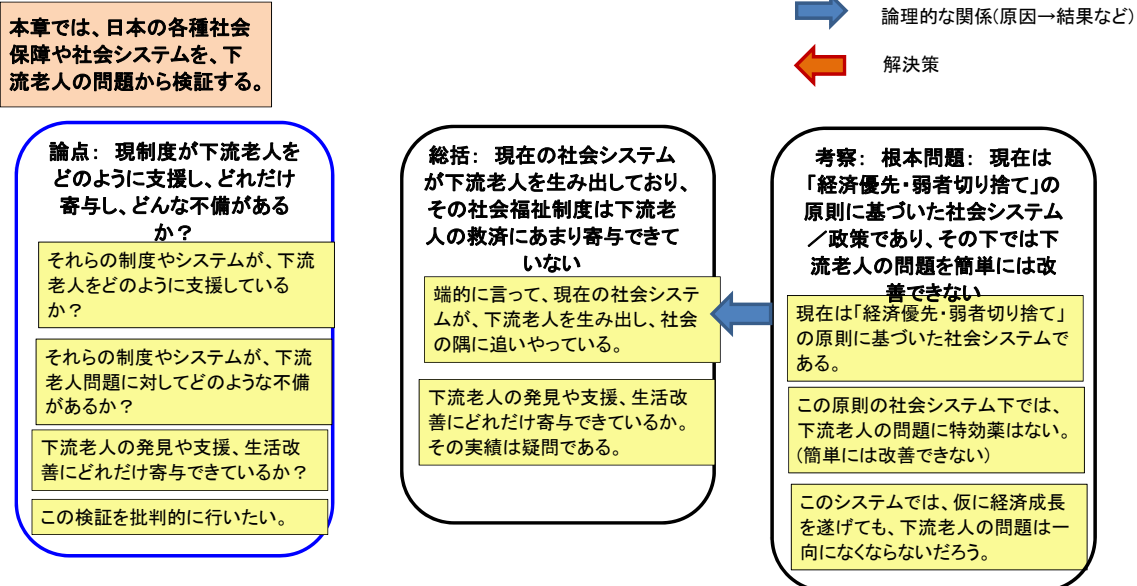


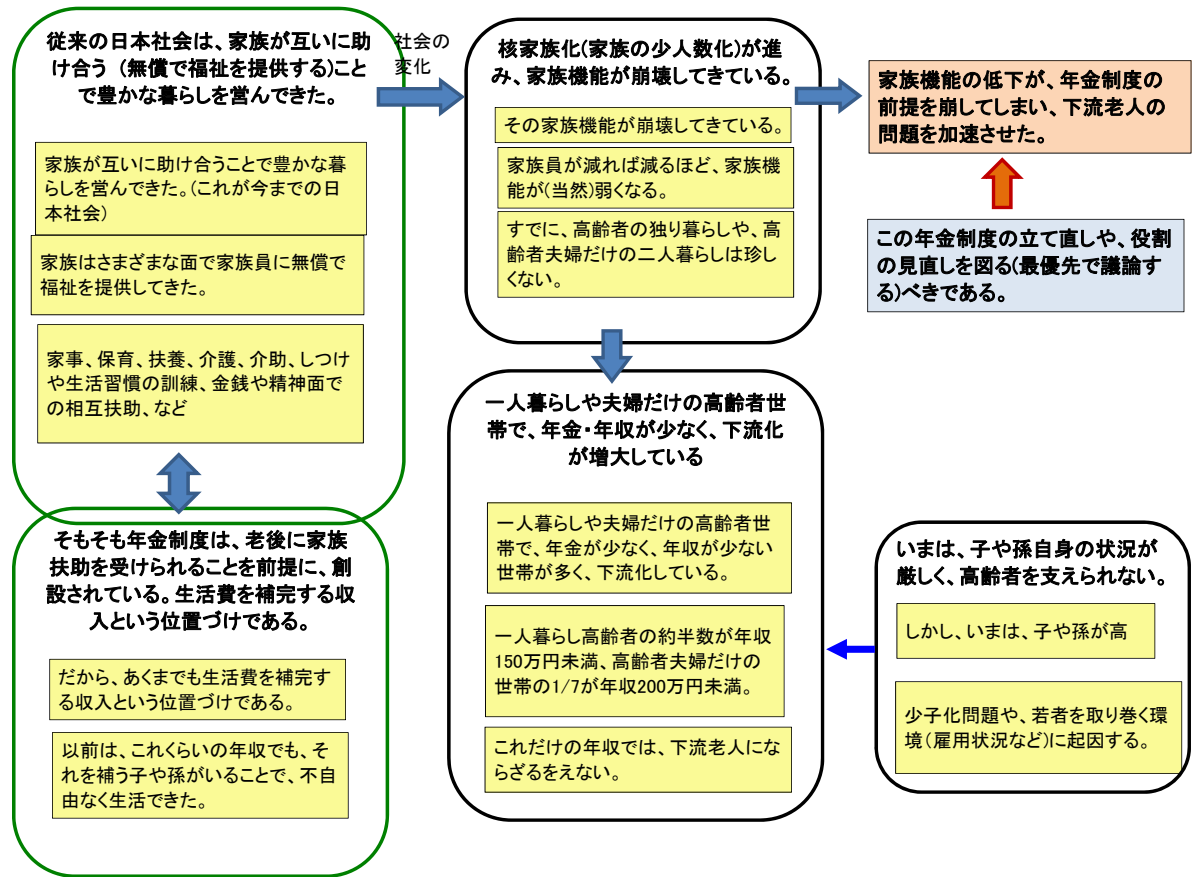
『下流老人：一億総老後崩壊の衝撃』 藤田孝典（朝日新書、2015. 6） (5) 制度と政策の問題
 『その論点のまとめと可視化（「札寄せツール」による図示）』（中川 徹、2015. 12.15）

第5章 制度疲労と無策が生む下流老人 — 個人に依存する政府

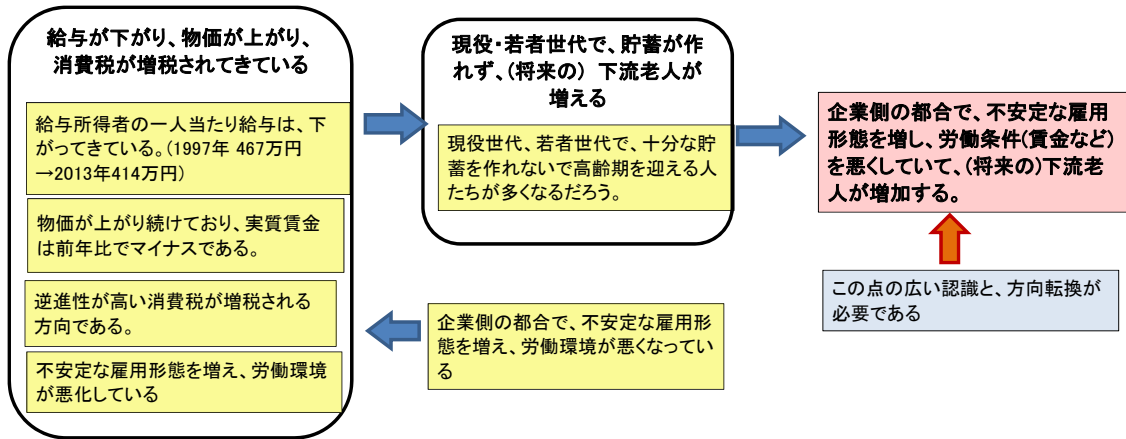


以下に8つの視点から検証する。

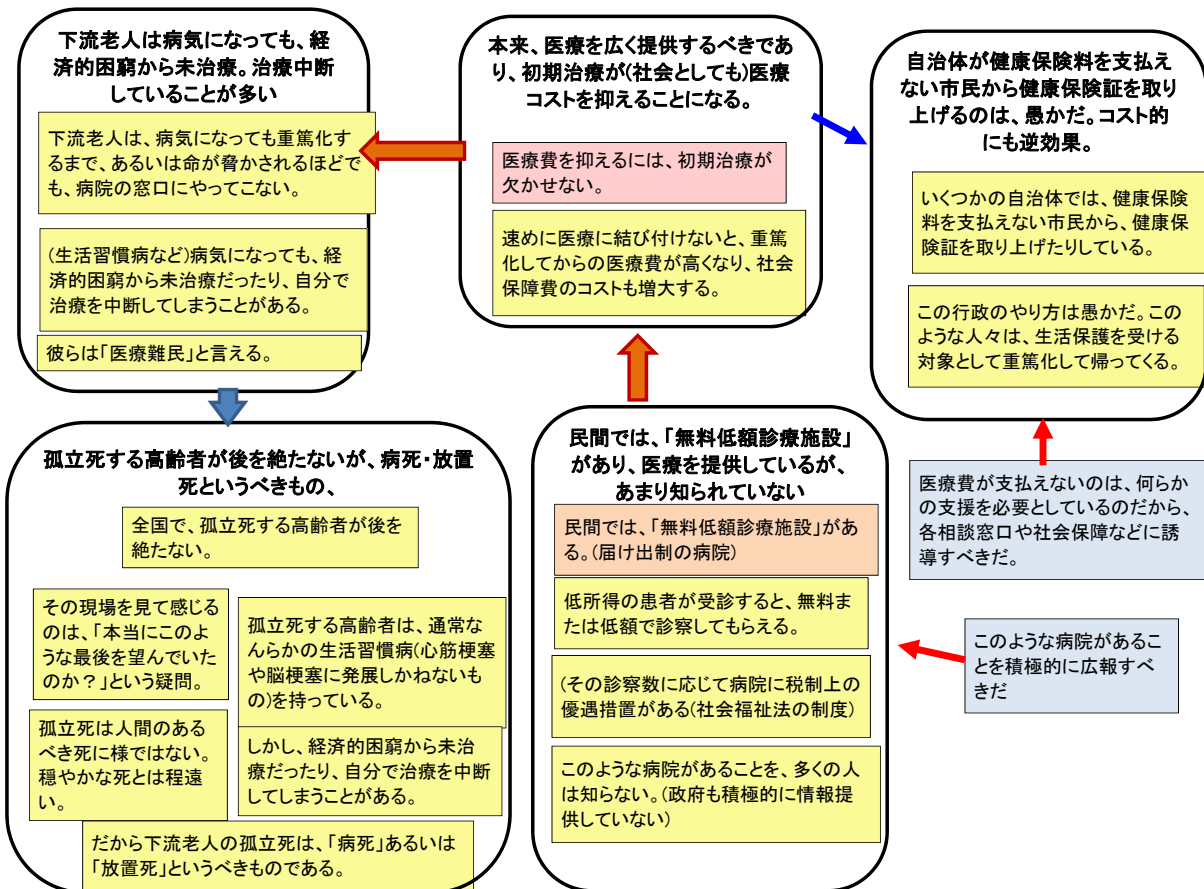
(1) 収入面の不備 — 家族制度を前提とした年金制度の崩壊



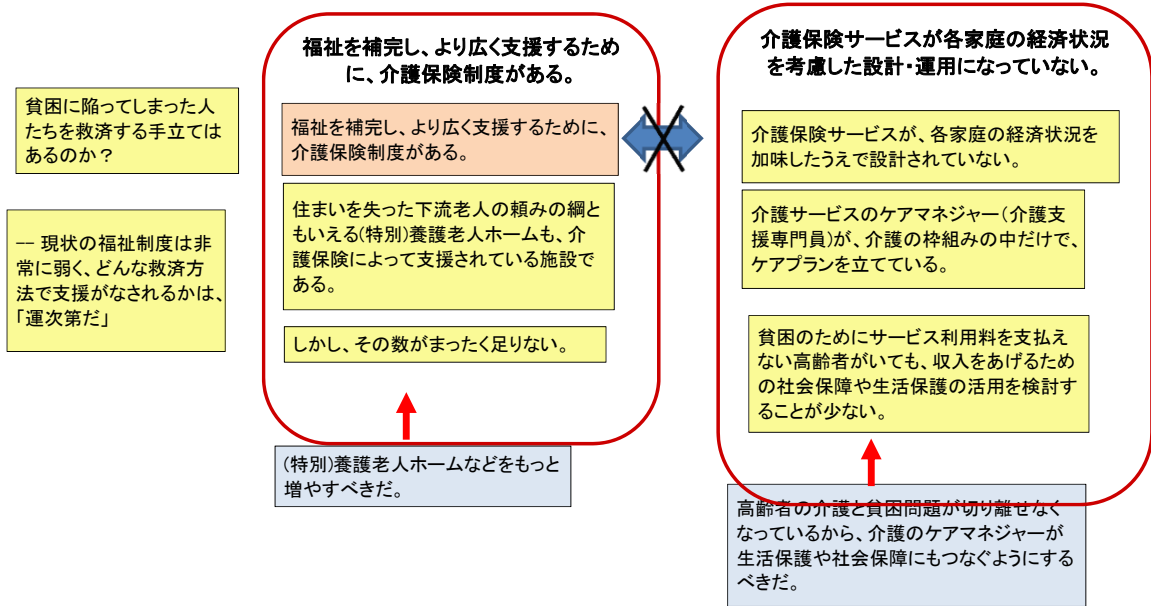
(2) 貯蓄・資産面の不備 — 下がる給与と上がる物価



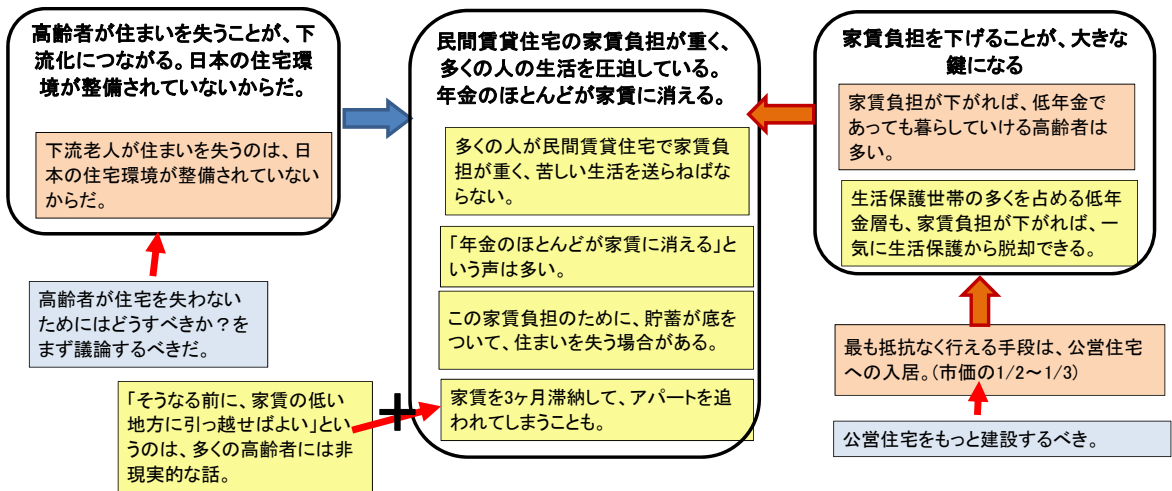
(3) 医療の不備 — "医療難民"が招く孤立死



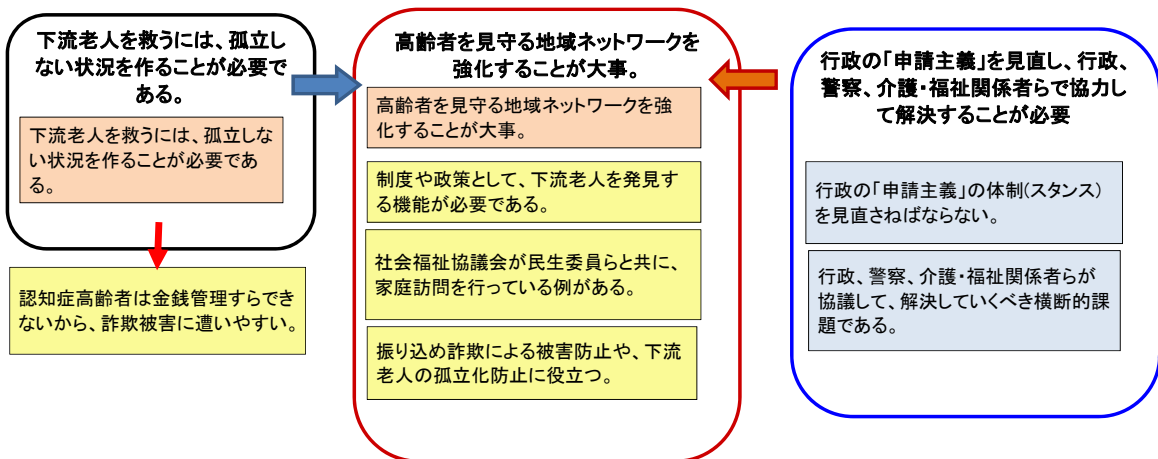
(4) 介護保険の不備 — 下流老人を救えない福祉制度、ケアマネジャー



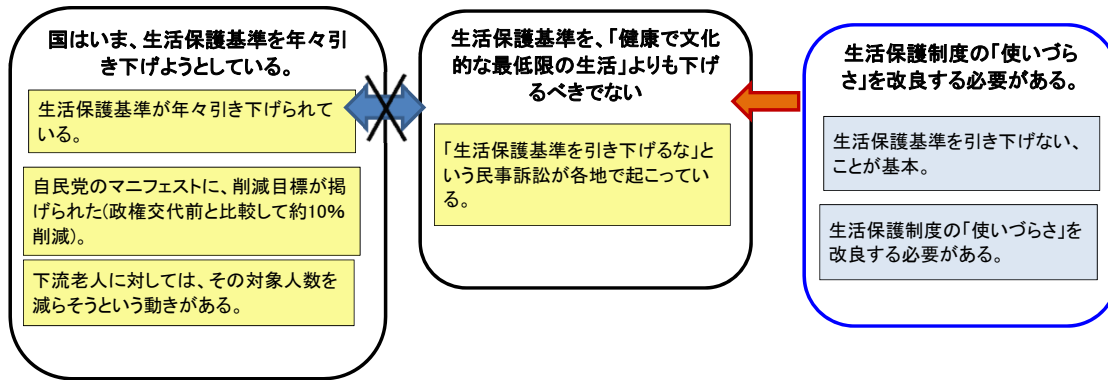
(5) 住宅の不備 — 住まいを失う高齢者



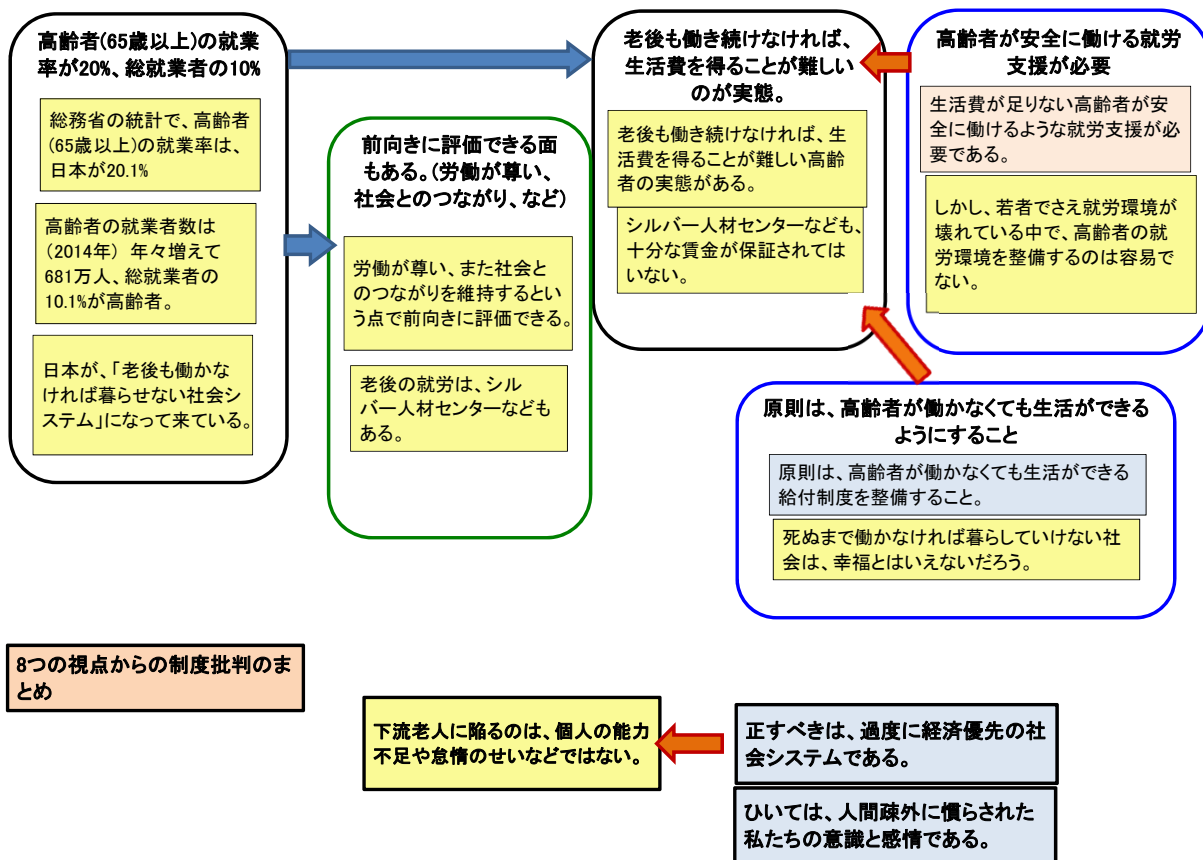
(6) 関係性・つながり構築の不備 — 助けの届かない



(7) 生活保護の不備 — 国によって操作される貧困の定義



(8) 労働・就労支援の不備 — 死ぬ直前まで働かないと暮らせない!?



(コラム3) 下流老人の生き血を吸う「貧困ビジネス」

